

せとうち DMONEWS

事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう
活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
78

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



SETOUCHI
BRAND
CORPORATION

ABOUT US

わたしたちせとうちDMOは、瀬戸内ブランドを確立し、
地域経済活性化や豊かな地域社会実現を目的とし、これ
まで活動してきました。

わたしたちはこの度の新型コロナウイルス感染症の影響
を深刻に受け止めており、瀬戸内エリアの自治体・観光
関連事業者のサポートに全力で取り組むと共に、収束後
のいち早い復活に向け、組織が一丸となり、取り組んで
まいります。

発行日：2022年12月09日
発行：せとうちDMO
発行人：三石・高橋・遠藤
住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

せとうちDMO
setouchitourism.or.jp

瀬戸内Finder
setouchifinder.com

SETOUCHI REFLECTION TRIP
setouchitrip.com

せとうち7県知事会議を開催

せとうち観光推進機構は、11月14日（月）に高松市で「せとうち7県知事会議」を開催しました。

出席者は知事本人が5名（兵庫県はオンライン）、山口県、愛媛県が公務のため代理出席となりました。

意見交換では、広域連携でインバウンドに取り組むせとうちDMOの意義やせとうちDMOに対する今後の期待について、ご発言をいただきました。

各県知事からは、「海外に対し、瀬戸内としての統一的なPRが現にできているのは素晴らしいこと。世界で行ってみたい場所の7番目に“SETOUCHI”が上がるというのは、各県バラバラで動いては到底できなかったものと考えており、抛出してきた人や資源に対するリターンは非常に大きなものがあったと認識している」「せとうちDMOには、万博等をターゲットにして大いにインバウンドを引き込んでいく戦略をしっかりと立てていただき、設立してよかったと7県やその周辺にも感じられるよう、よろしくお願ひしたい」といったコメントをいただきました。

また、2023年5月に開催されるG7広島サミットを契機として、せとうちの魅力を生かすために、「せとうち7サミット」の開催について事務局から提案しました。

提案を受け、広島県の湯崎知事から、「伊勢志摩サミットの場合、ポストサミットの経済効果が1,500億円程度あり、その大半はサミット後に訪れる旅行者によるもの。広島でのG7サミット後にもそういったことが起きると思っている。G7サミット後の誘客を促し、更に万博へ向けて誘客の流れを太くしていくべきではないかと考える。是非、全知事が集まって氣勢を上げることができればと考えている」というコメントをいただきました。また、他の知事からも、「単にせとうちの魅力を生かすだけでなく、万博におけるせとうち観光戦略のキックオフとして位置付けると求心力が高まる」といったコメントもいただき、せとうち7サミットの開催について、ご賛同をいただきました。

G7広島サミット後に高まると見込まれる訪日需要を確実に捉えるとともに、2025年の大阪・関西万博といった好機を生かしながら、せとうちの観光客数と観光消費額の更なる増大に向けた取組を進めていきたいと考えています。



▲徳島県 飯泉嘉門知事 ▲山口県 平屋隆之副知事



▲広島県 湯崎英彦知事 ▲岡山県 伊原木隆太知事



▲愛媛県 田中英樹副知事 ▲香川県 池田豊人知事



▲兵庫県 齋藤元彦知事

Setouchi Vélo

協議会設立総会への参加&せとうち島塾への参加

去る10月29日（土）に、Setouchi Vélo 協議会の設立総会が愛媛県今治市で開催されました。

せとうち観光推進機構は当該協議会の構成団体の一つであり、当機構からは坂元本部長が出席しました。当該協議会は「瀬戸内地域及びその周辺地域（以下「瀬戸内地域等」という。）を、環境に配慮した、安全で快適な、世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育てることにより、瀬戸内地域等のブランド価値の向上を図り、持続的な地域振興を実現すること」を目的として、8県の地方自治体、関係団体等で構成された組織です。当機構はこの設立総会からの参画となります。

今後、当機構が持つ欧米豪市場への情報発信等、インバウンド面で培った強み等を活かし、他の構成団体さまと共に、瀬戸内地域等の更なるサイクリングの推進に努めて参ります。



Setouchi Vélo 協議会への参画のご縁で、同協議会事務局で、会員企業である本四高速(株)が実施推進している「せとうち島塾」に海外マーケティンググループ二名が参加させていただきました。

「せとうち島塾」は、香川県丸亀市にある讃岐広島にて、座学と実践の両面から島の歴史や現状課題について理解を深めるプログラムです。

少子高齢化や海ゴミ等、島をとりまく様々な課題について、実活動だけでなく地元の方々との直接的な交流を通じて文字通り体感し事業活動にもつながる深い気づきが得られました。

また、「せとうち島塾」開催にあたり掲げられた「瀬戸内の未来を考え、観光のみにこだわらない地域の活性化に向けて、さらに、人口減少等に 伴う課題の解決の一助とするとともに、SDGs について考える 機会の創出」という目的は、当機構が掲げる「瀬戸内を、世界中の誰もが憧れ、また地域の誰もが誇りを持てる世界有数のデスティネーションに地域とともに創り上げ、地方創生を実現します。」というミッションにも重なるため、今後も継続して共に学んでいければと思いました。



EXPAT EXPO TOKYO 2022への参加 (海外マーケティンググループグループ)

去る11月25日（金）、26日（土）に、東京にて、日本在住の海外国籍の方やそのご家族等を対象とした観光誘客イベント「EXPAT EXPO TOKYO 2022」に参加し、各県や会員企業の皆さまから頂いたパンフレット情報等を活用し、来場された在日外国人の皆様に対し、瀬戸内への誘客PRをしてまいりました。

ブース来訪者は、多岐に渡り、メディア関係（インフルエンサーや新聞社等）や外国人向けにサービスを提供する会社（翻訳会社、食品会社等）、観光に関連する会社（旅行会社、DMO等）というようなビジネス関係の方もおられれば、日本在住の海外国籍の方（ターゲット市場である欧米豪は勿論のこと、アジアやその他の地域の出身の方も）やそのご家族（ちいさなお子様も多数）、同会場の他フロアで行われていたインターナショナルジョブフェア東京2022にご来訪された方々にもお越しいただきました。

「瀬戸内」の認知度は必ずしも高くなかったものの、各県さまのパンフレットを活用しながらそれぞれの有名な目的地や食のご紹介などすると、沢山の方がぜひ行ってみたい、とだけいただけました。また、瀬戸内地域に来るための交通手段について興味を示される方が多くおられ、会員企業様の各種パンフレットを活用し具体的な説明をして周遊いただくきっかけづくりに努めました。

こういった場での紹介により具体的な旅のきっかけにつながる活動の重要性に手ごたえを感じながらも、瀬戸内地域全体の知名度のさらなる向上や交通手段に対するご案内の充実の必要性等については、課題に感じました。計画中の来年度事業にも今回の経験を活かして、引き続きせとうち全体をPRし誘客につなげて参ります。

また、PR活動だけでなく、参加していた他の団体や来場されたビジネス関係の皆さんとの情報交換等からも、事業計画や活動のヒントとなる様々な情報が得られました。これらは参加して現地でアクションしたからこそその成果ととらえ、今回機動的に参加した同イベントのような瀬戸内をPRできる場を含め、一人でも多くの外国の方が瀬戸内の地域をご認識いただくきっかけを模索し、実誘客につなげて参ります。



現地旅行会社を招請したFAMツアーを開催 (海外マーケティンググループ)

せとうちDMOがターゲットとしている欧米豪旅行会社の商品造成担当者2名（オーストラリア、イギリス）を招請したFAMツアーを、11月11日から16日の6日間、山口・広島・岡山・兵庫を周遊するコースで実施しました。このツアーは、全4回実施予定のうちの第一弾となります。

実施にあたっては、感染症対策を行いながら、各所の皆様のご協力のもと、各県の魅力的な観光施設や宿の視察、アクティビティの体験等盛りだくさんの内容で実施いたしました。参加した旅行会社担当者からは「コロナ後の瀬戸内を視察できて良かった」「今回のFAMツアーを通じて、より瀬戸内へ誘客したいと思った」等の感想や評価をいただき、商品造成に向けて手応えを感じることができました。コロナにより長期間訪日旅行者が途絶え、情報が乏しくなっていたところであり、再開に動き始めたこの時期瀬戸内にご案内できたことは、今後の瀬戸内への誘客を図るうえで良い機会だと感じています。残りのFAMツアーはじめ、瀬戸内の多種多様な魅力を伝え、あるいは商品化を通じた誘客促進など、各事業等を通じた具体的なアクションを地域の皆様と連携し推進してまいります。

山口・広島・岡山・兵庫 コース



山口：瑠璃光寺五重塔



山口：秋吉台セグウェイツアー体験



山口：唐戸市場



広島：Okeiko japan茶道体験等



広島：sokoiko サイクリングツアー



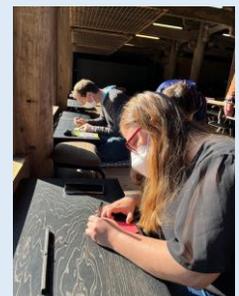
岡山：後楽園 茶道体験



岡山：後楽園 散策



兵庫：姫路城



兵庫：書寫山圓教寺

【FAM行程】※紙面スペースの関係上、一部行程を抜粋しております。

- 11/11~12 湯田温泉泊後、瑠璃光寺五重塔～秋吉台セグウェイツアー～大谷山荘・星野リゾート界～下関泊
- 11/13 唐戸市場～風の海～ヒルトン広島～sokoiko!サイクリング～夜神楽～広島泊
- 11/14 okeiko Japan茶道体験～宮島散策～大原美術館イブニングツアー～アイビースクエア～倉敷泊
- 11/15 後楽園～姫路城～姫路泊
- 11/16 書寫山圓教寺



オンライン開催
参加無料!

◆主催者挨拶（開会）

（一社）せとうち観光推進機構 専務理事/事業本部長 坂元 浩

◆第1部：基調講演

えひめ・瀬戸内における文化観光の可能性 —インクルーシブツーリズムを目指して—

愛媛大学 社会共創学部 地域資源マネジメント学科
文化資源マネジメントコース 准教授 井口 梓 氏

◆第2部：特別講演 “愛媛県観光の現状と取り組み：地域事例の紹介”

<東予>しまなみ海道だけじゃない！島々全体でのデザインを
～しまなみ海道「WAKKA」の展望～

(株)わか 代表取締役CEO 村上 あらし 氏

<中予>未来に繋ぐ道後温泉の観光まちづくり ～D to B、D to Cへの取り組み～

道後温泉誇れるまちづくり推進協議会 会長 宮崎 光彦 氏

<南予>歴史的資源を活用した持続可能な観光まちづくり

～サステナブルな観光地 OZU CASTLE TOWN を目指して～

(株)KITA 代表取締役 井上 陽祐 氏

◆第3部：観光関連セミナー

ドイツ（ヨーロッパ）市場の現状と展望 ～サステナブルツーリズムの潮流～

JNTO(日本政府観光局) フランクフルト事務所 次長 神吉 麻里 氏

せとうちDMOメンバーズについて

(株)瀬戸内ブランドコーポレーション ソリューション部長 遠藤 成将

◆主催者挨拶（閉会）

(株)瀬戸内ブランドコーポレーション 代表取締役社長 井坂 晋

開催日時: **2022年12月19日(月) 13:00~16:15**

定員 : **先着1,000名** ※定員になり次第締切とさせていただきます。

<お申し込みはこちら>

<https://meeting.setouchidmo.jp/ehime/>



<お問い合わせMail> meeting@setouchi-bc.co.jp TEL:082-836-3006 平日9:00~17:45

◆瀬戸内アカデミー報告

瀬戸内アカデミー：第68回
SDGsを織り込んだ新しい観光の在り方とライフスタイルの可能性
～場を持つ価値を見直すきっかけに～

SDGsとは？その実践的な事例とは？各社に求められる、SDGs、ESG、CSR、CSVという言葉たち。環境貢献をしながら、企業価値を高める時代といわれ久しい中、実際どうしたらいいかわからないという方も多いのではないのでしょうか。

この度の瀬戸内アカデミーでは、TSUKURU株式会社の辻社長をお迎えして、SDGs経営のメリット、SDGsを事業活動に落とし込んでいく事例、SDGsに基づくビジネス共創の取り組みなどのお話をいただきました。

参加者の方から「SDGsに関して概念的なところから具体的な取り組み事例に至るまでわかりやすくお話頂き理解が深まりました。」とのコメントをいただきました。

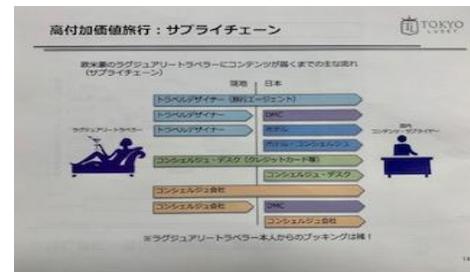


◆日時：2022年11月10日（木）14:00～15:00
◆講師：TSUKURU株式会社 代表取締役 辻 吉彦 氏
<http://www.tsuru.jp/>

瀬戸内アカデミー：第69回
デジタル時代のプロモーション手法
インバウンド高付加価値旅行者への効果的なリーチ & 送客手法とは
ケーススタディーから学ぶBtoB・BtoC攻略法～

オーセンティックな「本物」の体験を求める高付加価値旅行者にどのようにリーチ出来るのか？どのようにしたら瀬戸内に興味や関心を持って頂き、来てもらえるのか？世界のラグジュアリートラベラーに日本ならではの本物体験を提供しているTOKYO LUXEY様にケーススタディーを交えながら攻略法を紹介頂きました。

参加者の方から、今後の取組みに大変参考になった、などのコメントを多数頂きました。



◆日時：2022年11月24日（木）14：00～15：00
◆講師：株式会社 TOKYO LUXEY 代表 前田 知映 氏
www.tokyoluxey.com

◆「ええとこ満載！感じよう！瀬戸内+土佐～瀬戸内四国観光展～」開催

大阪府箕面市にある「みのおキューズモール」にて、山陽・四国エリアへの観光誘客促進を目的とした「瀬戸内四国観光展」が12月3日（土）、4日（日）の2日間にわたって開催されました。

出展団体は当機構の他に、7県（岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県）の大阪事務所及び一般社団法人四国ツーリズム創造機構、四国旅客鉄道株式会社、本州四国連絡高速道路株式会社、公益社団法人2025年日本国際博覧会協会の計12団体。

各団体が観光PRや名産品の販売などを行い、多くの来場客で賑わって両日ともに大盛況でした。

当機構はせとうちエリアの魅力をプロットした広域マップの展示や国内マーケティンググループにて実施しているコンテンツ造成事業の遊び・体験コンテンツや「瀬戸内ちよい先旅」のプレゼントキャンペーンの紹介を実施しました。広域マップをまじまじと観覧する方や「瀬戸内ちよい先旅」のキャンペーン内容に興味を示す方など、当機構のブースに足を止めた方々に「せとうち」の魅力を伝えました。

また、イベントのコーナーとして「PR&クイズコーナー」を実施。当機構の趣旨やせとうちの魅力をPR。クイズではせとうちの島に関する問題を出題し、想像以上にせとうちに多くの島が浮かんでいることに参加者の子どもから大人まで驚きの表情でした。「多島美」に象徴されるように、せとうちの島の魅力に関してもしっかりと触れてもらえるよう訴えかけました。



▲ご当地グルメの販売や絶景写真展なども実施しました。



各県のゆるキャラと一緒に「PR&クイズコーナー」に参加しました。



広域マップから造成コンテンツ一覧、「瀬戸内ちよい先旅」・造成コンテンツを紹介するチラシなどを取り揃えました。



来場客に「瀬戸内ちよい先旅」と造成コンテンツのピラ配りをしました。



寒空の下、ブースにてお客さんを温かく歓迎しました。



各県ゆるキャラ大集結！



(上) お絵描き大会
描いた絵はキューズモールにて展示。

(左) せとうち絶景写真展
各県が一押しした絶景写真を持ち寄り、来場客による一般投票！
見事一位に輝いたのは…、「山口県周南市の工場夜景」！

◆観光PR催事を実施しました

岡山県玉野市様、愛媛県大洲市様、愛媛県東温市様の特産品販売、及び観光情報PRとして広島三越8階催事場、広島銀行、東京海上日動火災保険広島ビジネスタワー10F、損害保険ジャパン広島支社の特設会場にてせとうちフェアと題し観光PR催事を開催しました。広島三越では、事前に12,000通のDMを発送し誘客し、また淡路牛ステーキや香住がにの甲羅盛りなどが当たるガラポン抽選会も開催するなど、当選者の際には大きな鐘が鳴り響き大変盛り上がりしました。



◆DMOメンバーズ特別クーポン

瀬戸内7県お取り寄せECサイト「島と暮らす」では、DMOメンバーズの皆様に歳末特別クーポンを発行いたします。

右記のクーポンコードをご購入の際にご利用いただくと、購入金額の総額から5%OFFとなります。年末年始の家族でのお食事にお歳暮にご利用ください。



島と暮らすECサイト

NEWSDMO2022

◆SBCホームページリニューアル！

株式会社瀬戸内ブランドコーポレーションのホームページを全面的にリニューアルいたしました。

これまで以上に、お客様に有益な情報をお伝えできるように努めて参ります。

ぜひアクセスください！

新ホームページURL（これまでのURLと同一です）：<https://setouchi-bc.co.jp/>



せとうちDMOとは 事業内容 事例・活動内容 NEWS ABOUT

お問い合わせ

企業経営を支援し
せとうち地域価値を
最大化する。

October 31, 2018
せとうちDMO 産品通販サイト「島と暮らす」運営事業を開始

September 19, 2018
サイクルシップの名称「サイクルシップ・ラズリ」に決定！

August 29, 2018
中野製菓への観光ファンドによる支援決定

June 25, 2018
株式会社四国水産館開発への観光ファンドによる支援決定！

April 12, 2018
ヤママップへの観光ファンド支援決定

一覧を見る

